

地方 通信



東北地方

宮城縣下のハイキング コースの企劃成る

宮城縣下の海岸美の極致、巨岩怒濤を囁む氣仙郡末崎村碁石海岸は「名勝及び天然紀念物」として珍しくも文部省から二つの指定を得、又それに隣接する角岩も天然紀念物に指定され意義ある今年文部省と地元で協力し、夫々立派な標石を樹立する事になり、これを機會にハイキングコースを兼

地方通信

ねた觀光地帯として縣下に呼びかける計畫を決めその第一歩に乗り出した。まづ村内方面を網羅して組織したまゝ事變等の關係で休息状態にあつた碁石保勝會が本格的に活動し、時局下に相應しい諸施設の完備を圖るわけだ。

關東地方

茨城縣の明十五年度の 道路改良事業

茨城縣道路の明年度改良事業につき、其筋より四十五萬圓を以て改良、五ヶ所十キ

ロ三鋪裝五ヶ所十一キロ八の事業に補助するの旨内示があつた。其の内示通り事業を行ふこととし直に調査に着手する。事業費四十五萬圓中、國庫補助は三分の一の十五萬圓だから三十萬圓が縣と地元負擔となるが追加豫算に計上される、この改良鋪裝される全道路は軍事及び産業上重要なものばかりである。

▲改良道路 麻生町附近一籽八△龍ヶ崎町附近二籽△新治郡田餘村附近四籽△那珂郡勝田村附近一籽五△水戸市外吉田神社附近一籽の延長十籽三を二十四萬圓で幅員三間とする。▲鋪裝道路 磯濱町附近一籽△鹿島町行方郡牛堀村間四籽△多賀町附近四籽△太田町附近一籽△水戸市二十三夜章、歩兵聯隊間一籽八の延長十籽八を二十一萬圓で簡易鋪裝

埼玉縣下に事艱克服の

一橋落成す

埼玉縣秩父、比企、大里一帯を慘害に晒

した水曜が去つてから一年半、水害地の源秩父山中の吉田町の中央を貫流する吉田川は、山奥から坂落しの濁水に氾濫、物凄い流れは町の中央をつなぐ中橋をさらつてしまひ、町を二分してしまつた、交通の不便此上もなきこととなつたので、直様町では中橋の架橋に取り掛つたが、この故郷の災害を知つた戦線の勇士達はわれも〜と義金を送り、同橋もこの勇士達の赤誠によつて物資不足難を克服してこの程見事に完成、町では近く盛大な落成式を舉行、

安心して下さい、こんな立派な橋が出来ました、と第一線にも寫眞を送る事になつた。

東京府並千葉縣下浦安橋の開通

東京——浦安——千葉を結ぶ最短コースを實現するため昭和十年十月以來、東京——千葉兩府縣當局の手で江戸川に架設工事中心の此程「浦安橋」の竣工を告げた。同橋は總

延長百六十四メートル、幅員十メートル、總工費三十五萬六千九百餘圓（内東京府負擔額二十六萬九千八百餘圓）の鐵筋コンクリート橋で江戸川に架設した橋梁中最も大規模なものである。

神奈川縣下美しい遊歩道の完成

神奈川縣下國立公園箱根に美しい遊歩道が完成した——東洋一のロツクガーデンを控へる強羅温泉は、紀元二千六百年記念の園園美化事業として、公園外廓をめぐる遊歩道と登山鐵道に沿つて二ノ平高原に通ずる總延長約千二百メートルの遊歩道の新設工事を進めてゐたがこの程漸く完成したこの遊歩道は優雅な公園の風光を探勝しつつ、早雲山の峻峰や明神、明星、金時等の箱根外輪山の諸連峰も眺められる箱根隨一の新道遊路で、登鐵と強羅ホテル協力により總工費約五萬圓をもつて出現した國際園箱根の新名所である。

東 山 地 方

岐阜縣下多治見の道路舗装の着工

多治見町多治見橋際郵便局建設敷地前、中津名古屋線および多治見驛前太田多治見停車場線縣道の未舗装分は、町地元負擔金約五千圓も決定の運びとなつたので新年度早々懸案の着工に至ることになつた。總工費は八千餘圓、驛前の延長一〇〇メートル幅員九・三〇メートルで多治見橋畔は長さ六〇メートル、幅員七メートル

近 畿 地 方

兵庫縣下新装の西國街道の改良

昔阪神間の幹線道路として往來はなやか

だつた西國街道（縣道神戸—伊丹線）の改修と鋪装工事がいよ／＼竣工する。西宮土木出張所では一昨年、武庫川甲武橋以東伊丹までの間約四キロを幅員八メートル五〇に改修したが、産業道路として一層その利用價値を高めるために、昨年八月から工費十萬圓で同路線のコンクリート鋪装に着手するとともに、第二工區たる甲武橋以西西宮市廣田まで約三キロの改修を行つてゐたが、このほど東部の鋪装は殆ど完成した坦々たる新装道路が北攝平野を縦貫し、また西部の改修は都市計畫を加味して幅員十五メートルの大道路が西へ伸びて、全く舊態を一新し、近く全區間が竣工し十五年度早々鋪装されることになつた。この路線は甲東村下大市で阪急今津線の上を近代的な大跨線橋で踏み越すことになつてゐるが、その工費約三十萬圓で當座しのぎの平面交叉となつてゐる。なほ廣田から東川に沿うて阪神國道に聯絡し、省線ガードも幅十五メートルに擴張されることになつてをり、西

宮市と伊丹を通ずる大動脈線として近く開通を期待されてゐる。

和歌山縣和歌山市の道路改修

和歌山縣和歌山市の十五年度土木事業のうち、主なる道路改修の新規事業は山吹丁以下六路線の道路擴張並に新設工事で、總事業費は十三萬三千餘圓に上つてゐる。六路線の事業計畫は左のとほりで同工事完成の曉は既報四十三萬圓に上る三ヶ年繼續事業の都計路線市驛新和歌浦線、舊縣廳跡を南北にぶち抜く縦貫産業道路とともに、地元市民の期待は大きい。

△和歌山築港秋月線——豫算六萬七百餘圓
都計路線中之島紀三井寺線より東へ向ひ水道路に至る間全長三三一メートル、幅員一一メートルの道路新設工事で將來は築港線と結ぶ。

△市驛大浦線——豫算二萬三千餘圓縣立商業學校から縣道分岐點より北に向ひ、愛

宕水幹線に至る全長七二〇メートル、幅員七メートルの道路新設、

△山吹丁第三號線——豫算一萬八百餘圓、杉ノ馬場から國道十六號線改修道路に至る間全長九六、六メートル、幅員一二メートルの道路擴張工事で現在より一、五メートルづつ兩側へ幅員を擴張。

△愛宕山水軒線——豫算六千六百餘圓、水軒海水浴場バス停留場から海濱松原に至る間全長六五メートル、幅員八メートルの道路延長工事で、人家の一部立退きを命じ完成の曉は從來のやうなむき苦しい人家の軒を通ることなく、直に廣々とした海濱に出られることとなり、水軒海水浴場の面目を一新する。

△中之島新在家線——豫算五千四百餘圓新在家より西に向ひ、水道路に達する全長二七〇メートル、幅員四メートルの新設路線工事。

△西汀丁線——豫算二千九百餘圓、新築中の和歌山職業紹介所前から會議所裏を東

西に七番丁道路に達する間延長四五メートル、幅員六メートルの道路新設工事。

和歌山の和歌山市心臓に 縦貫路線の出現

和歌山市では和歌山都市計畫にもとづき市驛新和歌浦線事業費として四十二萬八千圓を計上、十五年度から向ふ三ヶ年の繼續事業として八番丁を起點に舊縣廳跡を貫通し扇ノ芝、築港線交點に達する全長六百三十メートル、幅員廿二メートル、(うち歩道兩側に二メートルト七づつ)の道路を新設ならびに擴張工事を行ふこととなつた。事業年度は十五年度十六萬五千八百八十圓、十六年度十七萬二千四百二十圓、十七年度八萬二千五百圓で、十五年度には八番丁から南汀丁オイル・スタンド間約三百五十メートルの道路改修を行はんとするもので、舊縣廳前道路附近は現在より約七メートル幅員を擴張、國道十六號線と關聯して寄合町まで工事を進めつゝある都計路線と結び、

近き將來には北島橋から扇ノ芝まで一直線の坦々たる縦貫道路が實現するわけで、産業和歌山の心臓部として面目一新することとなり、期待されてゐる。

四 國 地 方

高知縣の道路愛護作業 旺盛に赴く

高知縣では道路愛護作業が時局に即應したる適策と感じ獎勵を加へたる處、縣下各地方に益々其の旺盛を觀るに至つた。即ち

△土佐郡土佐山村道路愛護會では本愛護週間を利用し、二月十五日を期し一齊に全村民並各種團體を總動員して、村内縣道東西約十八キロに互り愛護作業を實施した。本日出夫人員愛護班十四班人員三七九名、國防婦人會一一會、青年學校生徒及び在郷軍人團一四二名、各小學校生徒二九〇名、合計九二二名であつた。當日午前八時を合

圖に各員共鑿て割當てられたる位置に陣取り、一齊に作業を開始したので、縣道全線に互り白エプロン姿の國防婦人會員を交へ時ならぬ花を咲かせた觀があつた。村當局としても道路愛護は直接産業の開發に密接なる關係を有するのみならず、同村愛護會は縣下に率先創立當時、早やくもその成績優良のゆゑを以て表彰された輝かしき歴史を有する面目に對し、一段と力瘤を入れ、高橋助役永野書記東西に出張視察を行ひ感謝の意を表した。老人子供に至るまでそれぞれ道具を手にし、涙ぐましく活動を目撃し、時局下村民の緊張振りに感激した。

△高岡郡越知町においては第四回道路愛護週間に當る二月十五日總動員で、東は佐川町黒岩村、北は横島村、西は大桐村別府村界まで七區に別れて路面の修理側溝の清掃作業に汗の奉仕に勉めたが、その内最も人目を引いたのは、七區内での大部落第三區戸數三百五十六戸にして、出仕者老若男女三百七十名の多きに達した。

△長岡郡那豐永村においては二月十二日、區長、その他關係方面の協議により國民精神總動員第四回道路愛護週間中同十四日を特に道路愛護奉仕デーと定め、吉川校長、上村警防團長等自ら陣頭に立ち、村民總動員以て熱汗奉仕をなし、就中大平、落合、立野、粟生班にては道路用砂利を採取運搬し、落合班の如きはモンベ隊まで繰出して汗を流して道路愛護の誠を捧げ、小學校兒童は雨に叩かれ、解雪中の縣道清淨美化作業に従事、國民集團勤勞奉仕の目的を體驗し、猶また部落的事故の爲に十四日の作業に出仕出来なかつた大瀧班にては翌十五日奉仕一名の不參者もなく、砂利の採取および運搬作業に勤勞したものであるが、特に目下〇〇方面に活躍中の勇士小松茂上等兵の養母ヘルさんの如きは、八十餘歳の老齡を顧みず、人々の止むるをもきかず壯者を凌ぐ意氣も強く奉仕、「銃とる心で銃後を盡せ」の心をそのまま實踐し、大いに人々を感激せしめた。

地方通信

△香美郡上韭生村では今回の道路愛護週間に際し、第三日（二月十四日）學校生徒は勿論、各種團體を網羅し、村内七百八十戸全戸三名以上強制總動員を實施し、午前八時、村内一齊作業開始佐藤縣土木課長を先頭に、大篠主幹並大板監督事務所官地監督外全員多端なる公務を押し来村、徹底したる指導振を發揮し村、安丸會長以下全會員克々相呼應し近來稀有の成績を擧げた。

△吾川郡下八川村にては去る紀元の佳節に幹部會を開き、二月十三日を以て道路愛護作業の實施計畫を樹立郷草、國愛婦、青年團は勿論、全戸漏れなく晴雨を論ぜず出勤することとなり、計畫實施に移つたが早朝より春雨降りしきる中に、モンベに鍍笠の服裝にて百五十名に達し、勇ましく溝溝へ路面均しに砂利撒き等に従事し、正午各受持共作業を完了して解散した。△番美郡山南村道路愛護會では去る二月十七日午前八時より終日道路愛護作業に奉仕した。この日參加するもの北村校長以下職員生徒一

同、村民二百八十餘名で、銃後の熱誠をかけての奉仕振に一般を感激せしめた。

△高岡郡戸波村の行事は去る二月十三日の春雨寒き八時より市野々、鷹之巢、太郎丸、本村、淺井の全部落總出にて修理を行ひ何れも道路愛護の念に燃え熱心に奉仕した。

△高岡郡窪川町では二月十五日第四回道路愛護作業を實施した。この日午前七時サイレンを合圖に、各戸からは各一名宛出勤各組各別に組總代の指揮を受け、それぞれ配置につき除草、清掃、地ならし等愛護作業に従事し、國民精神總動員下畷町緊張裏に集團勤勞奉仕の實を示し、豫期以上の成績を擧げ午後四時散會した。

△土佐郡鏡村吉原支部男女青年團においては、去る二月十六日部落の通行上重要なる古橋修理に奉仕、總員三十一名は川風吹きまくる橋上に早朝よりそれ／＼分業にて各自が任務を果たした。一同熱心に働いた。

又松葉川村では十七日午前八時から各部落および、各婦人團青年團、處女團等それ

土埋地均、砂利入其他村部落迄補修

九州地方

福岡縣福岡市の防空道路

施工に着手

福岡市都市計畫課が總工費二百五萬圓、四ヶ年繼續事業をもつて施工する市の防空道路は、二月二十一日付官報で認可の指令があつたので、直に着手することになつた。

この道路は上祇園町を基點として渡邊通五丁目に達する總延長千三百五十二メートルのもので、幅員は上祇園町以西瓦町までが二十五メートル、瓦町以西春吉までが二十メートル、渡邊通五丁目附近は三十四メートルで、二十五メートル附近には幅員一・五メートル、三十四メートル附近には二メートルの綠地帯をまうけ、都市の美化をはかるとともに、敵機空襲時における避難道路たらしめようといふのである。しかして

その工事費の年度割は十四年度三十五萬五千圓、十五年度六十二萬圓、十六年度六十八萬圓、十七年度三十九圓五千圓、計二百五萬圓となつてをり。將來はさらに延びて柳原を経て、城外練兵場の一角を通り大濠公園に達し、西新町より大濠公園に至る道路と結んで、市の一大メインストリートとなす計畫である。

熊本縣熊本市の飛行場道路舗装の完成

熊本縣では、九州循環航空路の開かれるのを前に熊本市から、黒石原飛行場入口までの道路舗装を十三年度から、三ヶ年事業として約二十萬圓を投じ着工中であるが、十四年度内には熊本市清水町、熊本幼年學校入口までを完成、十五年には全線を完成する豫定で工事を進めてゐるが、さらに同線を限府まで舗装する方針であり、これにより空路熊本入りする人および、郵便物の輸送など相當便利となる模様である。

- 一、受持部署を定め、午前八時宮城遙拜、戰歿將兵傷病勇士、出征將兵に對する感謝の獻辭を捧げて、各團長の指揮により工事を進め盛土、砂利撒等を行ひ、午後四時半全部終了した。△高岡郡仁田村では、去る十四日を國民精神總動員第四回道路愛護デーと定め、男女會員、警防團、學校兒童、モンペ隊などを總動員して一日の道路美化愛護作業に當つた。即ち一、愛護路線―縣道中村高知線（七子峠より平串橋まで）同久禮―宮内線（下吳地より笹ノ越トンネルまで）同興津―七里線（小向より瓦越トンネルまで）村道仁井田―五社線（平串地區内）其他村道、部落道
- 二、出勤人員―一六二名男七三六、女八八五
- 三、集合、終了―午前七時開始、午後五時終了
- 四、指揮者―藤村土木監督、各部落總代、各團體長細川會長
- 五、作業―概要、草刈、草削、側溝浚渫、